

# 5年後の学校の姿

共通の理念の下で教育プログラムと学ぶ環境が提供されている一つのシステム

子どもたちが安心して通える、学校に居場所がある

すべての子供たちが楽しい、安心して通える場所

子どもたち一人一人にあった多様な学びができる

ICT機器を自在に駆使して、自分が設定した課題等を自分のペースで解決していく学習が展開される学校

学校外の様々な居場所ともつながっている

## 資料05

教師の生産性向上を助けるサポートツールの存在

日野市の学校で教員をしたいという人があふれる学校

教職員に特別支援教育に関する理解がある学校

世の中の動きの先を見越した学びが提供できる設備環境

安心して必要な教育を受けられる学校

誰にとっても居心地がよく、安心して自分を表せる場所

自分のペースでやりたいことがわかり、夢中になれるだけの時間の保証

子どもたちがそれぞれの興味や課題についてわくわく意欲的に取り組める環境

人を大切にす学校

第4次基本構想を踏まえ、各学校が、特色ある独自の学校づくりを主体的に進めている

世の中の動きの先を見越した学びが提供できる教師陣

先生型も楽しく安心して働ける場

全クラス担任・副担任制

幼稚園から学校が一貫した流れに近づいてほしい

同じところ、違うところがあることを認識し、排除ではなく受け入れられる場所

不登校やいじめ、事故等がなく、安心安全に過ごせる学校

自分のペースで進んで学ぶことの楽しさを感じる場

一律一斉の学びから自分に合った興味をもって取り組める学び方に今より少しでも増やしてほしい

幼稚園・保育園、小学校、中学校の学びがつながり、深まる

子どもが自ら幸せな人生を歩んでいけるように、子どもが、自身の可能性を信じて、将来に希望をもって生きられるよう、色々なことに興味を持ち、学ぶ意欲を伸ばし、チャレンジできるような後押しする学校

子どもが自ら幸せな人生を歩んでいけるように、子どもが、自身の可能性を信じて、将来に希望をもって生きられるよう、色々なことに興味を持ち、学ぶ意欲を伸ばし、チャレンジできるような後押しする教員

先生の実績（良さ）を発揮しているチームとしての授業展開

教職員が、自分たちの目指す学校像に向かって工夫し、実践し、振り返ることを通して、年々、教育活動が充実・発展している

学校、行政、地域・保護者が協働し、子供たちを支える学校が、ごく自然なこととして、市民に認識される場

すべての子供が笑顔になれる学校

子どもたち一人一人に活躍の場がある

すべての子供が友達と楽しく勉強したり遊んだりして、生き生きと活動する子供の姿が見られる学校

一人一人の子供が、自分が仲間と関わり合うことで自分が高まること、自分が仲間と関わり合うことで仲間が高まることを実感している

学校が進める学校づくりに地域が参画し、学校が担えないことを地域が担い、学校も地域も共に活性化していく関係が構築されている

学校、保護者、地域が支え合う

保護者や地域の方々が、様々な形でもっと自由に子供に関わりながら、共に学べる学校

「学び」と「遊び」で得られるそれぞれの力を学校と地域で分担する

楽しく通える笑顔の絶えない学校

一人一人の子供に活躍の場があり、その場において、今もっている力を最大限に生かして自分が一番やりたいことに取り組んでいる

友達同士で教え合える関係性

学校が、「保護者が一義的責任を負う子育て」のパートナーとして信頼され、共に子供のよりよい成長を願って協働している

学校（子供）を核にして、保護者、地域、教職員が気軽に対話しながら子育てができる学校

児童生徒を真ん中に、教師、保護者、地域が同じ目的を持ち力を合わせて子育てできる環境

学校をオープンにし、保護者が進んで協力してくれる体制

学校、行政、地域・保護者が協働し、子供たちを支える学校

# 身につけてほしい力

**基礎学力**  
**基礎学力**

何があっても「生きる」ということを大事にする力  
**生きていく力**

**思考力**  
**論理的思考力**

**人と関わる力**  
**人の話を聞く力**

多角的な物の見方や考え方  
自分で考え、自分の言葉で表現する力

**コミュニケーション力**  
**コミュニケーション力**

自分の頭で考えて表現する力  
自分の考えを伝える力

自ら学び自ら考え、自分の思いを人に伝えられる力  
自分の頭で考え、自分の言葉でコミュニケーションできる能力

**四則演算**  
科学技術の進歩(特にIT関係)に対応できる情報活用力

**読解力**

**忍耐力**

**体力向上**  
心身の健康を維持向上させる力

**あきらめない力**  
困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力(主体的に学習に取り組む態度として)

困難な状況でも、周りの人たちと支えあい、乗り越えることができる人間に育ってほしい  
**困難に向かってみようとする力**

優しさを分けられる、受け止める力

**思いやり**

**協調性**

自他を大事に尊重できる感情

人のために動こうとする力

多様性を理解し受け入れることができる柔軟性、協調性

多様性を認め合い、自分の考えをもって様々な個性や能力をもった人々と関わり、コミュニケーションを通して人間関係を築く力

一人一人の違い・価値感を認め合う力

ひとり一人が違うことを理解して尊重し合い、それぞれの良さが発揮できる

世の中には様々な立場や境遇の方々(マイノリティ)がいることを理解し、その人の立場に立って合理的配慮や有効な支援を考えることができる力

社会の一員として活躍するための人間関係構築力や人を思いやる心、道徳心

**共存する力**

自分のやりたいこと、好きなこと、興味のあることを見つけ、それに挑戦する力

**常に挑戦する力**

**主体性**

主体的に、社会の変化に対応できる力を培おうとする向上心と行動力

素直で柔軟な心(受入れられることができる)

環境に伴って変化できる力

自分の考えを見つめ直す力

**謙虚に学ぶ姿勢**

ウェルビーイングを自ら実現していく力

幸せを感じることが出来る力

**自分が好きという力**

○自分の存在は、かけがえない唯一無二の存在であると思える力(自己肯定感)

守られ愛されていると思えること

物事を冷静に前向きに捉えられる力

集団の中で自分を生かす力

人としての総合的な人間力

**地域愛**

**物事を楽しむ力**

取り組む過程を楽しむ力

自分の気持ちをコントロールする力(抑える、我慢する)

状況に応じて判断しようとする力

未来に希望をがもてる力

みんなで協力してよりよい学校・地域・社会をつくっていく力

新たなことにチャレンジし、新たなものをつくり出そうとする力

自ら課題を設定し、自分で考え、仲間との協働によってよりよく課題を解決し、新たな課題を見いだす力

自分の進むべき道を見つける力(羅針盤力)

**自己管理能力**

**新たな社会を形成する力**

自他、社会が共に健康で、豊かに、幸せである世の中を、仲間と共に、自らつくり上げていく力

自分が動き、仲間と共に動くことで、何かを変えてくことができるといふ、経験に基づく自信をもち、現状をよりよく変えていこうとする力

**自立する力**

自分のことは自分でやろうとする力

**新しい解や納得解を生み出す力**

自分で、友達と考え、試す実践力

**新しいアイデアなど発想力**

PDCAサイクルを自ら回し続ける力

Cultural Agility

**リーダーシップ**

# 学校教育で大切にしていきたいこと

実践：学びの個別化、共同化、プロジェクト化 + 変化し続けること

学びあい育ちあいの気持ちを持ち、みんなで教育を進めていく

学校に関わるみんなでより良い未来・社会をつくっていく

大人になる自分、少し先のなりたい自分に近づくために学校で何をどのように学ぶのか。児童生徒、保護者、地域がみんなで分かり合える学校の力を更につけていく

環境整備：地域コミュニティとの連携・協働・共感

どんないのちも、大事に思える児童生徒（幼児）を育てていく

## 社会性

多様性を大切にしつつ、相互理解を深め、社会へ参加するための準備となるものであって欲しい

## 個性、多様性の尊重

先生たちの「心のゆとり」=子どもたちの「心のゆとり」

先生方がやりがいをもつことができ、楽しく安心して働くことができる

多様な他者との関わり合いの中で納得解を見だし、その具現化に向けて相互に力を発揮し合って自己の役割を果たし、自分たちの生活を自分たちでより楽しく豊かに作り上げていく力を育むこと

異校種間でのつながり、保護者とのつながりを教育に活かしていく

社会教育、福祉分野、医療分野、警察分野等との連携とすみ分けの明確化

最も大切なことは、人間性を高めること

心構え：信念と我慢強さ

認め合い、さらに高め合う教育活動を行うこと

不安を抱える子、不登校の児童生徒、保護者へのアプローチをより丁寧に進める

すべての子供が「できた・わかった・高まった」を実感でき、自己の変容に気づき、他者の変容にも気づくことができる教育活動を展開すること

一人一人の子供が自分に合った学びができるように、子供を深く理解し最善の支援ができる体制づくり

学校としてやるべきこと、できることの範囲と限界を知り、やるべきこと、できることに粘り強く全力で取り組み、子供のために尽くしきること

誰にとっても風通しのよい学校（園）作りを推進する

## 環境整備

子供一人一人が平等に愛情を注がれ、いじめや差別がなく、安心して学習や遊びができる環境づくり

常に楽しい場所であること

常に見直し対話をし改善していく

自由進度で学ぶ授業と一律一斉の両立

ゆとりのある教育活動

変える、変わることを楽しみにしたり、新しいことへの取り組みに対して、ワクワク感を持ち、実践したりしていく

子供たちが自信をもてるようになること

子供たちにとって何が良いことなのかを常に考えること

すべての教育は人々の幸せのためにあるという当たり前の事が具現化されていること

子供たちを信じること

ゆとりのある教育環境

成功体験と失敗経験のバランスが必要

## 安全管理

教育の機会を皆に公平に与えること

画一的な対応でなく個性を尊重した教育、変化する環境に柔軟に対処できる資質や能力を身に付けられる機会を提供する

# どんなことをしていきたいか

## 理念的な方向性の提示

学校を知る。学校のホームページ等をなるべく閲覧して、教育活動内容を知る

## 実社会で求められる能力開発のサポート

学校に入る。学校公開や学校行事等に参加し、今の学校の子供たちの実態を見極めたい。ボランティア募集等の案内がある場合は、可能な限り応募したい

## 重点分野への重点投資を可能にする教育効果測定などの理論付け

子供にかかわる。貧困や虐待等で家庭環境に恵まれない子供、不登校の子供やその家庭への支援活動にかかわりたい

## 体力向上

日頃の活動を始め、講習会、様々なコンクールやコンテスト、部活動などの大会などに積極的に挑戦して、広く校外の取組に触れ、磨き合うことで生徒と教員の力を高めたい

本校で学びたいと言う生徒を増やしていく

教職員が、子供たちと目標を共有し、子供たちが考える学校像を実現するためのパートナーとなって協働し、学校づくりを進めていく教育活動が行えるようにする

各学校（園）においては、学校や教師が目指す方向を共有しよう

## 目玉となる取組み

幼児期の教育は、生涯に渡る人格形成の基礎を培う重要なものであること、また「環境による教育」であり幼児期にふさわしい遊びを通して総合的な学びであることを広く周知する

様々な日野市の行事等で、高校生が園・小・中の子供たちと触れ合えるようなことができれば、あるいは、園・小・中の行事等で関わることがたくさんできれば良いのかと感じます

園・小・中と高校の連携を様々なところで、日常的に気軽に行いたい

子供たちが、自分たちの学校（学年・学級）を、自分たちの力で作り上げていく時間と場を設定し、子供たちが試行錯誤しながらよりよい学校づくりを進めていく教育活動が行えるようにする

## 授業改善の支援（研修などの充実）

特別支援教育のセンター的機能を活用し、引き続き日野市と連携して支援を継続していく

## 東京都の人事制度を活用し育成していく

教育委員会主催の副籍制度実践報告会の開催を提案する

遊びを通じた学びがその後の小学校での学びにつながっていくために、保護者や地域の人に具体的に伝え伝えていく

教員が子どもたちと向き合える時間を確保するための働き方改革

幼稚園、保育園と小学校との接続の重要性を一層意識し、研究保育や合同研修等を通して、共に考えあっていたい

幼児期に育みたい力が育まれるよう、幼児の実態に応じ直接的体験を積み重ねていく

子どもたちが様々な物に興味を持てるようにするには、子ども自身の見聞や経験も必要なので、その環境作り

幼児教育に携わる一員として、小学校のためにできることを惜しまずしていきたい

学齢期の成長に大きな影響を与える、人格形成の基盤を築く最も重要な乳幼児期の育ちに関して、幼児教育・保育のあり方を検討する

コミュニティスクール、地域学校協働本部の拡充

## 学校、行政、地域と保護者の対話

PTAとして学校、行政と対話する機会を設けるなど、繋がりを強めたいと考えています

市の各スポーツ連盟が指導者を養成する講習を開催する

地域住民の連携の場として学校を利用して地域の運動会を行うこと

子供の自己肯定感・幸福感を高められるように、家庭でフォローしていきたい

同様に保護者や地域にも共有できていることが望ましいと思うので、そのための発信

地域の一員として子どもたちに遊びから得られる力をつけさせたい

未来を担う子供たちを学校のみならず、もっと本気で地域や家庭が育てようとしなければ、教育現場はパンクする

## 保護者として、積極的に地域活動へ参加する

学校と福祉をはじめとした行政、民間団体等の連携を深める

家庭の状況等にかかわらず子どもたちの学びと育ちの機会を保障する（経済的支援、保護者・子どもたちが相談しやすい環境づくりなど）

一人一台端末の活用などの新しい学び方あった学校施設、地域に必要な機能をもった公共施設としての学校施設の整備

PTA活動やボランティア活動などを通して、学校や園の一助になれるように積極的に協力していきたい

学校が担う範囲、役割を明確にし、子供と教職員の協働で取り組む学校づくりに、保護者や地域が参画することができるようにする